



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社
 コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 滝沢 昌彦

四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日

TEL 025-270-7111

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	27,909	2.7	817	△46.0	872	△40.1	541	△63.6
26年6月期第3四半期	27,169	7.5	1,512	△4.8	1,456	△7.7	1,487	75.4

(注)包括利益 27年6月期第3四半期 1,190百万円 (△27.0%) 26年6月期第3四半期 1,630百万円 (53.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	29.21	—
26年6月期第3四半期	80.28	—

※当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	26,125	9,940	38.0	536.58
26年6月期	23,875	8,842	37.0	477.32

(参考)自己資本 27年6月期第3四半期 9,940百万円 26年6月期 8,842百万円

※当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年6月期の期末配当金については、当該株式分割前の実績を記載しております。なお、平成27年6月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	3.9	400	△67.3	400	△66.0	100	△92.1	5.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成27年6月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で分割する株式分割が、平成27年6月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	18,590,000 株	26年6月期	18,590,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	64,868 株	26年6月期	64,616 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	18,525,299 株	26年6月期3Q	18,523,634 株

※当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成27年3月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策の効果もあり、輸出企業の業績及び雇用環境の改善など緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による物価上昇の懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、節約志向・低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など、厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高279億9百万円（前年同四半期比7億40百万円（2.7%）の増加）、営業利益は8億17百万円（前年同四半期比6億95百万円（46.0%）の減少）、経常利益は8億72百万円（前年同四半期比5億84百万円（40.1%）の減少）、四半期純利益は5億41百万円（前年同四半期比9億46百万円（63.6%）の減少）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、消費税率引き上げ以降、消費者の購買意欲が高まらないなか、昨年の夏秋期間の天候不順に加え、今冬は局所的大雪などはありましたが、昨年に比べ暖冬だったこともあり、水産練製品の需要にとっては厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、新製品の発売ならびに製品リニューアルなどの販売促進施策により「蒲鉾」・「竹輪」・「かに風味」商品群は堅調に推移し、さらに12月のおせち商品群も好調な販売結果を残すことができました。

一方、主に原材料、エネルギーコスト等の高騰による生産コスト上昇により利益面では前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は240億91百万円（前年同四半期比9億66百万円（4.2%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は3億95百万円（前年同四半期は8億39百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、天候による野菜相場の変動により、きのこ価格も大きく影響を受けるなか、継続的に販売強化に取り組んだものの、販売数量が伸びなやんだことにより、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

また、海外連結子会社の販売数量未達に伴う創業赤字が生じたことも利益の減少要因となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は34億71百万円（前年同四半期比35百万円（1.0%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は2億89百万円（前年同四半期は6億23百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ その他

(運送・倉庫事業)

運送事業におきましては、定期輸送便の一部終了等により売上高は前年同四半期を下回ったものの、物流機能の効率化に努めた結果、利益は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫は低調に推移いたしましたが在庫量を高い水準で維持し、また保管効率の向上に努めた結果、売上高・利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

また、前連結会計年度においてゴルフ場事業を譲渡しております。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は3億46百万円（前年同四半期比1億90百万円（35.5%）の減少）セグメント利益（営業利益）は1億18百万円（前年同四半期は81百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は68億59百万円（前連結会計年度末比43百万円の減少）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加及び仕掛品の減少によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は192億66百万円（前連結会計年度末比22億94百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加及び時価評価額の上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

なお、海外連結子会社の工場竣工により、建設仮勘定から建物及び構築物、機械装置及び運搬具等に振替を行っております。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は97億14百万円（前連結会計年度末比7億36百万円の増加）となりました。これは主に課税所得の増加に伴う未払法人税等の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は64億71百万円（前連結会計年度末比4億15百万円の増加）となりました。これは主に投資有価証券の時価評価額の上昇等に伴う繰延税金負債の増加によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上ならびにその他有価証券評価差額金の増加等により99億40百万円（前連結会計年度末比10億97百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の37.0%から38.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,424,295	1,329,640
売掛金	2,571,606	3,038,319
商品及び製品	430,424	417,565
仕掛品	627,014	343,375
原材料及び貯蔵品	1,329,722	1,367,643
その他	520,755	363,567
貸倒引当金	△666	△571
流動資産合計	6,903,153	6,859,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,400,545	7,715,344
機械装置及び運搬具(純額)	2,742,805	3,928,801
工具、器具及び備品(純額)	107,935	149,019
土地	3,342,383	3,324,791
リース資産(純額)	40,965	189,728
建設仮勘定	2,164,036	76,683
有形固定資産合計	13,798,672	15,384,369
無形固定資産	384,845	396,420
投資その他の資産		
投資有価証券	2,113,906	2,801,098
その他	707,363	708,695
貸倒引当金	△32,916	△24,516
投資その他の資産合計	2,788,353	3,485,277
固定資産合計	16,971,872	19,266,067
資産合計	23,875,026	26,125,608
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,946,476	1,750,077
短期借入金	4,384,504	4,256,104
未払法人税等	20,131	300,269
賞与引当金	56,461	228,765
未払金及び未払費用	1,399,506	1,557,987
その他	1,170,135	1,620,934
流動負債合計	8,977,214	9,714,137
固定負債		
社債	2,630,000	2,515,000
長期借入金	2,782,310	2,767,928
役員退職慰労引当金	182,182	194,506
繰延税金負債	411,869	672,918
その他	48,987	320,944
固定負債合計	6,055,348	6,471,296
負債合計	15,032,563	16,185,434

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	6,413,043	6,861,465
自己株式	△15,499	△15,720
株主資本合計	7,987,544	8,435,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	760,383	1,289,639
為替換算調整勘定	94,534	214,788
その他の包括利益累計額合計	854,917	1,504,428
純資産合計	8,842,462	9,940,173
負債純資産合計	23,875,026	26,125,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	27,169,478	27,909,812
売上原価	19,851,812	21,309,128
売上総利益	7,317,665	6,600,684
販売費及び一般管理費	5,805,432	5,783,538
営業利益	1,512,232	817,145
営業外収益		
受取利息	1,220	766
受取配当金	13,350	12,338
受取賃貸料	11,160	9,792
受取手数料	14,417	14,445
為替差益	—	123,707
雑収入	26,407	36,665
営業外収益合計	66,557	197,715
営業外費用		
支払利息	97,489	103,391
為替差損	16,203	—
雑損失	8,712	39,308
営業外費用合計	122,405	142,700
経常利益	1,456,384	872,161
特別利益		
固定資産売却益	6,314	1,829
投資有価証券売却益	—	1,858
受取賠償金	1,301	1,246
補助金収入	51,579	168,816
受取保険金	14,173	5,797
事業譲渡益	50,265	—
関係会社清算益	23,318	—
特別利益合計	146,951	179,548
特別損失		
固定資産除却損	10,913	6,000
固定資産売却損	322	3,879
投資有価証券評価損	369	—
特別損失合計	11,604	9,879
税金等調整前四半期純利益	1,591,731	1,041,830
法人税、住民税及び事業税	102,760	353,226
法人税等調整額	1,817	147,555
法人税等合計	104,578	500,781
少数株主損益調整前四半期純利益	1,487,153	541,048
四半期純利益	1,487,153	541,048

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,487,153	541,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,201	529,256
為替換算調整勘定	58,627	120,253
その他の包括利益合計	143,829	649,510
四半期包括利益	1,630,982	1,190,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,630,982	1,190,558
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,124,944	3,507,286	26,632,230	537,247	27,169,478	—	27,169,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,772,843	1,772,843	△1,772,843	—
計	23,124,944	3,507,286	26,632,230	2,310,090	28,942,321	△1,772,843	27,169,478
セグメント利益	839,583	623,647	1,463,230	81,730	1,544,960	△32,727	1,512,232

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。なお、平成26年3月においてゴルフ場事業を譲渡いたしました。
2. セグメント利益の調整額△32,727千円は、セグメント間取引消去18,920千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△51,648千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,091,551	3,471,728	27,563,280	346,532	27,909,812	—	27,909,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,854,038	1,854,038	△1,854,038	—
計	24,091,551	3,471,728	27,563,280	2,200,571	29,763,851	△1,854,038	27,909,812
セグメント利益	395,996	289,318	685,314	118,099	803,414	13,731	817,145

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送・倉庫事業であります。
2. セグメント利益の調整額13,731千円は、主にセグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。